

A World without Nuclear Weapons

On May 27, 2016, a man visited Hiroshima and gave a speech at the city's Peace Memorial Park.

2016年5月27日、ある1人の男性が広島を訪れ、市の平和記念公園でスピーチをしました。

He began, "Seventy-one years ago, on a bright, cloudless morning, death fell from the sky and the world was changed.

彼は「71年前の明るく雲のない朝、空から死が降り世界が変わりました」と始めました。

The man's name is Barack Obama.

その男性の名はバラク・オバマです。

He became the first sitting U.S. president to visit Hiroshima.

彼は広島を訪れた、最初の現職のアメリカ大統領になりました。

It meant a lot to the city, to Japan, and to the world.

それは広島市、日本、そして世界にとって大きな意味を持っていました。

Before the speech, Obama visited the museum there.

スピーチの前、オバマはその資料館を訪れました。

In its guest book, he left these words:

記念帳に彼はこう書き残しました

We have known the agony of war.

私たちは戦争の激しい痛みを経験してきました。

Let us now find the courage, together, to spread peace, and pursue a world without nuclear weapons.

今こそともに、平和を広める勇気を出して、核兵器のない世界を追い求めましょう。

He also left two paper cranes there.

彼はまた、2羽の折り鶴もそこに残しました。

They were folded by Obama himself.

それらはオバマ自身によって折られました。

Obama closed his speech by saying,

オバマは次のように言ってスピーチを終えました。

"The world was forever changed here.

世界はここで永遠に変わってしまいました。

But today, the children of this city will go through their day in peace.

しかし今日、この市の子供たちは平和なうちに1日を終えるでしょう。

What a precious thing that is!

それはなんと貴重なことでしょうか！

It is worth protecting, and then extending to every child."

それは守るに値するものであり、そしてまた全ての子供たちに広げる価値のあるものです」。